

エネルギー・資源学会 第20回「技術賞」を受賞
CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」が評価される

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDM※1プロジェクト」が評価され、エネルギー・資源学会※2が主催する第20回「技術賞」を受賞し、その表彰式が6月13日(水)に都内のホテルで開催されましたのでお知らせいたします。

エネルギー・資源学会技術賞は、同学会が1988年度から開始した表彰制度であり、同学会の会員で、エネルギー・資源に関する科学技術の発展のために、基礎または応用分野において顕著な業績をあげたものに与えられる賞です。

当社は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、CO2排出削減プロジェクトを推進しています。2006年2月、CO2削減としては世界最大級であり、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては世界初となるCDMとして、国連機関(CDM理事会)の承認を受けました。今回、この取り組みが高く評価され、同賞を受賞したものです。

当社は、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、「環境」をCSR活動の最重要分野と位置づけており、今後とも温暖化防止対策を始めとする地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献してまいります。

※1 京都メカニズムの1つ「クリーン開発メカニズム(Clean Development Mechanism)」の略で、先進国が技術や資金を提供し、発展途上国で温室効果ガス排出削減プロジェクトを行った場合、そのプロジェクトによって削減された温室効果ガス相当量に対し、一定の認証手続きを得て排出権が発行される制度。

※2 エネルギー・資源に関する諸問題を総合的に解決するために産・学および官の緊密な協力関係を育成強化するとともに、会員相互の連携を図りながら当該科学技術の振興に寄与するために1980年に設立された組織。

記

1. 受賞対象: 「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」
2. 代表受賞者: 栗本 駿 (新日本石油株式会社 執行役員 環境・品質本部 社会環境安全部長)
3. 表彰式: 6月13日(水)13:30~ (虎ノ門パストラル)

以上



右:栗本 駿 左:土田 進一(環境・品質本部 社会環境安全部チーフスタッフ)

 「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」について (157.1KB)